

令和4年度 環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォームプラットフォーム構築業務
事業化に取り組む活動団体 意見交換会（令和4年度 第2回）

『環境と産業の調和から有明海の再生に向けて』


鹿島モデルの構築 其の後

2023.02.16 鹿島市役所ラムサール条約推進室
室長補佐 江島 美央

1. 第1回意見交換会以降の今年度の取組について追記

- ① 熱中症ゼロのまち
- ② 市民との対話
- ③ とにかくPR アワードへの応募 企業が「ん？」と興味を持つ街になる

令和4年度「熱中症ゼロのまち」に向けた目標と取組

 脱炭素	2050年までに二酸化炭素排出量実質0を実現	<ul style="list-style-type: none">・吸収源対策（早生桐の検討）・グリーンスローモビリティの実現
循環型社会	バイオプラによるクローズドリサイクルの実現 廃棄物のリサイクル	<ul style="list-style-type: none">・脱プラ、硬質プラのリサイクル・荒廃地域の再活性・生ごみ堆肥化・汚泥有効利用施設の検討
グリーンインフラ	危険箇所のグリーンインフラ化を実現	<ul style="list-style-type: none">・棚田の活用・グリーンインフラ日本酒（ごえん）・自然ダム・海の森の増加
生物多様性基盤	多様性の回復の実現、種数の保全	<ul style="list-style-type: none">・生物多様性の保全 潟を踏もうぜプロジェクト（潟花増）・生態系サービスの構築 日本のオーガニック素材50種のうち、 10種が鹿島産
環境に関する 関係/交流人口増加	関係/交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none">・修学旅行誘致・エコツアー（干潟でヨガ）・市民対話の場（環境講演会・Jリーグ）・ガタピカ ・リレーマラソン大会
GX推進地域化	GX推進地域化によるGX事業創出	<ul style="list-style-type: none">・ 計画策定中

佐賀県鹿島市×サガン鳥栖 「クラブ× 地域循環共生圏」 市民対話イベント
「こどもたちが、思わず楽しみながら参加してしまう「熱中症ゼロ」に
する環境アクションって何だろう？」



アワードへの応募 3冠達成！

- 環境省 グッドライフアワード
10周年特別賞 環境まちづくり賞
- 国土交通省 グリーンインフラ大賞
- 内閣府 地方創生SDGs金融表彰



成果

【全体】

- 他の省庁からの支援
- 企業版ふるさと納税の獲得
- 県外のSDGsパートナーの増加
- 視察の増
- 講演依頼の増

【個別事業】

- ① バイオマスレジンの連携
 - ボランティアゴミ袋 バイオマスレジンの製に
 - 3月末 酒ツーのおちょこをバイオプラに変更
 - 協定まで年度内に締結（予定）
- ② G I 日本酒のPR、販売促進
 - 完売
 - クラファンに挑戦中
- ③ 放牧牛の利活用
 - 佐賀銀行のつなぎで、肉みそに。フードマイレージも削減。（地方創生SDGs金融表彰）
 - マスコミに大きく取り上げられる

2. 一年間取組を行って感じた課題とその対応策

- 「鹿島モデル」の知名度
幻の鹿島モデル・・・検索しても何も出てこない。
⇒情報発信の見直し
HPに取り組みを載せる
報告書を専門家の先生に見て頂き、ご意見を頂く
年度内に実施
- 自走の準備

3. 次年度以降に取り組んでいくこと

(1) 地域循環共生圏 鹿島モデルの拡大

・まちづくりの全体の基礎へ

(2) 地域循環共生圏×脱炭素関連施策の推進

・脱炭素先行地域への申請

(3) 鹿島版GXの推進

(4) グリーンインフラ

(5) SDG s の推進

(担当課から奪った)

鹿島モデル

鹿島市の環境保全につながる事業を生み出し鹿島市の環境と産業を元気にする。
環境と産業の調和から有明海の再生を目指す。

